
第4回 手稻山口地域協議会

【日時】令和4年10月1日（土）13:00～
【会場】山口処理場管理棟 会議室



次 第

- 1 開 会
- 2 参加者確認
- 3 工事の現状と今後の見通しについて
- 4 前回の協議会の議論を受けた報告事項について
- 5 啓発活動について
- 6 今後の地域づくりについて
 - (1) オリエンテーション
 - 1 地域協議会の役割
 - 2 令和4年度の進め方
 - 3 前回までの振り返り
 - 4 本日の話し合い
 - (2) グループワーク
 - ・手稻山口地区の地域づくりの方向性についての意見交換
 - (3) 全体共有とまとめ
 - ・各グループのご意見紹介と次回の進め方
- 7 その他
- 8 閉会

手稲山口地域協議会 規約

(名 称)

第1条 この会は、手稲山口地域協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(目 的)

第2条 協議会は、手稲山口地区の北海道新幹線トンネル発生土受入地（以下「発生土受入地」という。）への発生土の受入にあたり、工事の安全性の確認とともに、地域課題の共有を図り、住民同士の意見交換やそれに基づく活動を通じて地域の活性化に寄与することを目的とする。

(活 動)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- (1) 発生土受入地における工事状況の確認
- (2) 発生土受入地の盛土工事完了後の跡地利用の検討
- (3) 手稲山口地区の地域振興のための課題の共有
- (4) 協議会の活動内容の情報発信
- (5) その他協議会目的の達成のために必要な活動

(組 織)

第4条 協議会は、次の者の中から、山口西町内会、山口東町内会が推薦する者をもって構成する。

- (1) 山口西町内会、山口東町内会の区域に居住する者
- (2) 山口西町内会、山口東町内会の区域内で農業、事業等を営む者
- (3) 山口西町内会、山口東町内会の区域内の学校、病院、事業所等に勤務する者

(情報発信)

第5条 協議会の活動結果の概要については、意見の発言者などが特定されない形式で、広く公表することとする。

(事務局)

第6条 事務局は、札幌市新幹線推進室及び鉄道・運輸機構北海道新幹線建設局が担う。

(その他)

第7条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会で定める。

附 則

- 1 この規約は、令和3年12月5日から施行する。

手稲山口受入地の工事進捗と今後の予定について

平素から、北海道新幹線事業にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。手稲山口受入地工事の進捗状況と今後の予定についてお知らせいたします。

○工事の進捗について

引き続きトンネル掘削土の受入れを行っており、9月からは遮水壁という、盛土外周の地中に鋼製の板（鋼矢板）を設置する工事を開始いたしました。より一層の万全を期するために、これまでの対策工に加えて、遮水壁（鋼矢板）を設置し、自然由来重金属等の周囲への漏出リスクをさらに軽減させ、安全性を高めます。



受入地全景（北東側から南西側を望む）（令和 4 年 8 月）



遮水壁施工状況（令和 4 年 9 月）

○今後の予定について

10月からも引き続き地盤改良、遮水シート、遮水壁の施工を行います。またトンネル掘削土の受入も並行して行ってまいります。

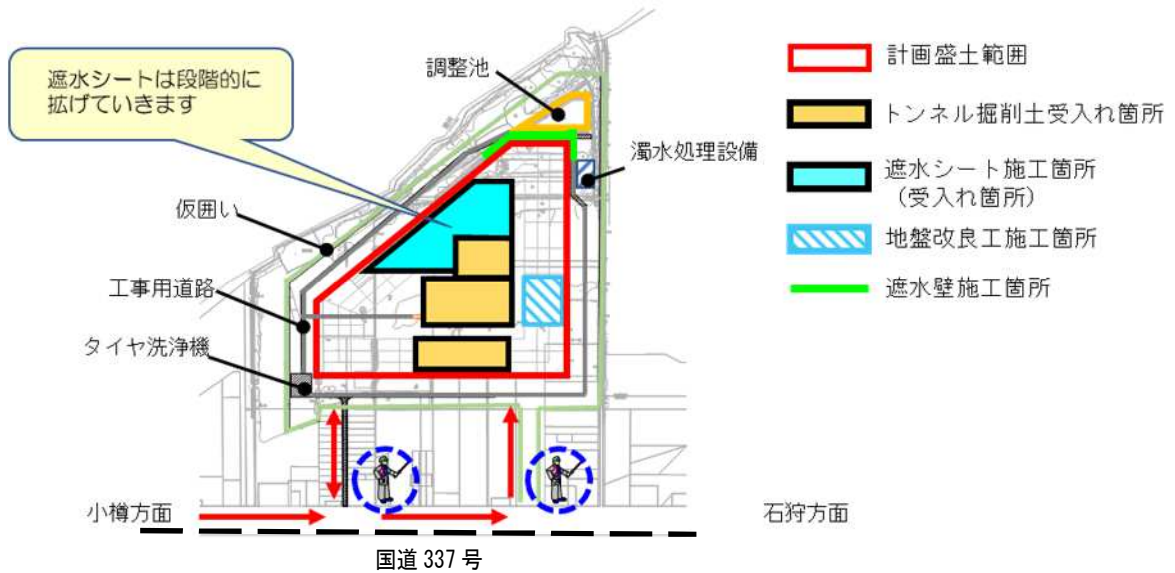
令和 5 年 1 月までの主な作業

	10月	11月	12月	1月
地盤改良	■			
遮水シート	■	■	■	
トンネル掘削土受入れ	■	■	■	■
遮水壁工	■	■	■	■

○安全・環境対策

10月以降もトンネル掘削土を搬入するダンプトラックの台数は、1日最大 300 台程度を予定しております。また、遮水シートや地盤改良に使用する砂や資材を運搬するため、大型車両の通行も予定しております。当面の間、トンネル掘削土を運搬するダンプトラックと合わせて1日で最大 400 台程度の通行が見込まれます。工事用道路出入口には誘導員を配置するとともに、車両の運転者に対して「歩行者・一般車両最優先」を教育し、引き続き安全に十分に配慮します。

（裏面に続きます）



ダンプトラック荷台シート被覆状況



タイヤ洗浄状況



粉じん防止剤散布状況



粉じん防止ネット設置状況

トンネル掘削土を運搬するダンプトラックは、荷台をシートで覆い、運搬時の飛散防止に努めるとともに、受入地から出る際には、タイヤ洗浄機でタイヤをきれいにし、公道に受入地の土を運び出さない対策を徹底しております。また、受入地は粉じん防止剤の散布、散水や粉じん防止ネットの設置等対策を行い、粉じんが周囲に飛ばないようにしております。

工事の進捗に関しては定期的にお知らせさせていただきます。何卒、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

※粉じん防止剤は、人体に無害であり、微生物により分解されるものを使用します。

○水質モニタリング

令和4年5月から令和4年8月の水質調査では、地下水⑤の採取地点でヒ素の基準値超過が認められました。地下水⑤の採取地点は、地下水の流れから、受入地より上流側に位置していることから、ヒ素の基準値超過は、ヒ素を含む土壌が広く分布している札幌市の地域特性に起因したものであると考えられます。



ヒ素検出状況 (単位 mg/L)

採取地点名	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8
地下水①	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.005
地下水②	0.001	0.006	0.006	0.007
地下水③	0.010	0.006	0.008	0.005
地下水④	0.002	0.002	0.002	0.002
地下水⑤	0.004	0.006	0.007	0.011
地下水⑥	—	0.004	0.001	0.005
河川水R①	0.008	0.008	0.009	0.010
河川水R②	0.008	0.010	0.010	0.009
河川水R③	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満

基準値：0.01 mg/L 以下

○粉じんモニタリング

令和3年12月1日から受入地と星置地区センターの2地点で総粉じん量のモニタリングを実施しております。5月末から、粉じん防止剤の散布等の粉じん防止対策を強化したところ、6月以降の測定値が受入地で0.021~0.041mg/m³、星置地区センターで0.015~0.021mg/m³に減少しており、粉じん防止対策の効果によるものと考えています。

総粉じん量 (単位 mg/m³)

採取地点名	(R3.2)	(R3.4)	(R3.6)	R3.12 前半	R4.5 前半	R4.5 後半	R4.6 前半	R4.6 後半	R4.7 前半	R4.7 後半
受入地	(0.016)	(0.032)	(0.025)	0.026	0.062	0.071	0.046	0.034	0.041	0.021
星置地区	-	-	(0.024)	0.021	0.032	0.037	0.021	0.020	0.021	0.015

← 受入れ前
→ 受入れ後

※上表のカッコ内は事前調査における総粉じん量 (単位 mg/m³)

※総粉じん量とは、測定期間中に粉じん測定器で吸引して集めた粉じん量を測定期間中に粉じん測定器で吸引した体積で割って算出したものです。測定期間中の体積1m³の中にある粉じん量です。

(裏面に続きます)



粉じん測定位置



粉じん測定器（星置地区）

今後も適切に工事を行うとともに、水質及び粉じん量のモニタリングを継続することにより地域環境の保全に努めてまいります。

【工事に関するお問い合わせ先】

鹿島・岩田地崎・荒井・森川

北海道新幹線、札幌トンネル（星置）特定建設工事共同企業体

電話：011-590-1375 （担当：新明（しんみょう）・桜井）

手稻山口

地域づくりに向けて

地域協議会

第4回

2022年10月1日（土）

13:00～

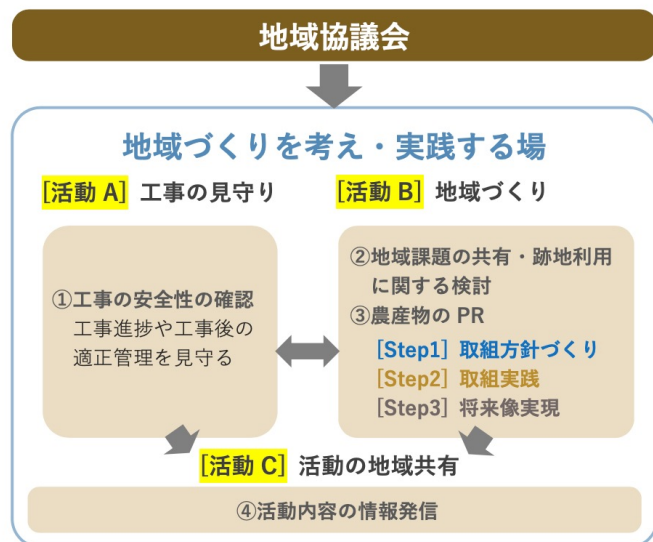
山口処理場管理棟 会議室

オリエンテーション

- 1 地域協議会の役割
- 2 令和4年度の進め方
- 3 前回までの振り返り
- 4 本日の話し合い

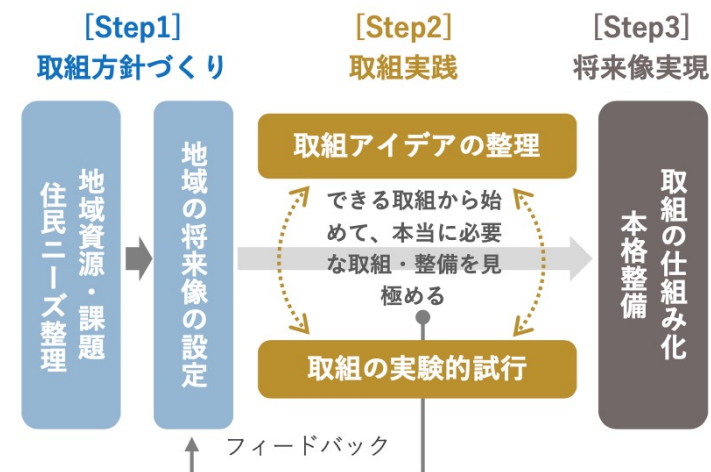
1 地域協議会の役割

地域協議会の取組イメージ



1 地域協議会の役割

地域づくりのステップの例



2 令和4年度の進め方

6月 第3回協議会 ・手稲山口地区の魅力資源や課題の確認

本日の話し合い

10月 第4回協議会 ・地域づくりの方向性の確認

12月 第5回協議会 ・手稲山口地区の将来像

2月 第6回協議会 ・令和4年度のまとめ / これからの取組

※各協議会開催1ヶ月後を目処にニュースレターを発行

3 前回までの振り返り

手稲山口地域協議会だより Vol.3

令和4年7月発行
手稲山口地区地域協議会事務局

第3回地域協議会を開催しました！

6月26日(日)に開催した第3回協議会では、鉄道・運輸機構から、受入地の工事状況と今後の予定、農業への対応などについて説明しました。その後、参加者がグループに分かれて、地域の魅力や課題、課題など、今後の地域づくりについて意見交換をしました。また、協議会の取組について再確認し今後の進め方についてご意見をいただきました。

話し合いの内容

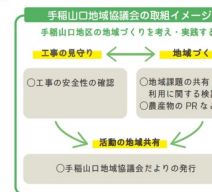
- 1 工事の現状と今後の見通し
- 2 前回までの協議会で話し合った課題への対応
- 3 今後の地域づくりに向けた意見交換
- 4 今後の協議会の進め方について

手稲山口地域の魅力に繋がりますか？



いただいたご意見は事務局へ

手稲山口地域協議会について



手稲山口地区の北海道新幹線トンネル発生土受入地への発生土の受入れにあたり、工場の安全性の確保とともに、地域課題の共有を図り、住民同士の意見交換やそれに基づく活動を通じて地域の活性化に寄与することを目的に設置するものです。山口西町内会、山口東町内会から推薦された住民等が構成されます。

事務局として札幌市新幹線推進室と北海道新幹線北海道新幹線建設局が参加しています。

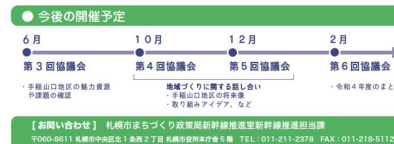
第3回 地域協議会の主なご意見

- 1 工事の現状と今後の見通し
 - ・協議会で現場見学会を行うなら、農家の集まり方を考慮して10月以降の開催を検討してほしい。
- 2 前回までの協議会で話し合った課題への対応
 - ・協議会で現場見学会を行うなら、農家の集まり方を考慮して10月以降の開催を検討してほしい。
 - ・協議会で現場見学会を行うなら、農家の集まり方を考慮して10月以降の開催を検討してほしい。
 - ・協議会で現場見学会を行うなら、農家の集まり方を考慮して10月以降の開催を検討してほしい。
- 3 今後の地域づくりに向けた意見交換
 - ・協議会で現場見学会を行うなら、農家の集まり方を考慮して10月以降の開催を検討してほしい。

手稲山口地区の魅力資源
大浜みか、サッポロスイカなどの農産物は格別の美味しさで、地域の1番の資源である。
・農家の直売所は、大浜みかや、サッポロスイカなどは、新鮮な農産物を手ごろな値段で提供しているため、人気がある。
・アマダスの観音所があるため、気温が高い場所として「手稲山口」の名前が知られるようになった。気温が高く暑さを感じることも、美味しい農産物が育つことにもつながっている。
・観音太鼓の練習場には札幌市内外から演奏依頼があり、活発な活動を行っている。

地域の課題
農家の担い手が高齢化してきている。農家を継ぐ人も出てきており、今後も耕作放棄地が増えることが懸念される。
・農家を継ぐ世代は出てきているが、地味農業の不安定のために、農産物のブランド化なども考え、道の駅を整備するなどの取り組みが必要。
・農家太鼓の練習場所である山口クラブは老朽化してきており、改修してほしい。
・山口緑地の高層のパークゴルフ場は、トイレなど高齢者が使いにくい箇所が多いため、改修してほしい。

今後の協議会の進め方
若い人たちに地域づくりについての意見を聞きたい。協議会に参加してもらいたい。個別に話を聞く機会や、若い人たちだけで議論する場があったほうが発言しやすいのではないか。
・周辺の学校の生徒や学生にも意見を聞く機会があると、将来の地域活性化に繋がっていくのではないかと。



3 前回までの振り返り

いただいたご意見 (魅力資源と検討課題)	地域づくりの方向性 (案)
大浜みかや、サッポロスイカなどの農産物は格別の美味しさ	手稲山口にしかない、 地域産業 がある。 →産業の価値を高める
農家の直売所では新鮮な農産物を手ごろな値段で提供	
寒暖差がありおいしい農産物が育つ	
ブランド農産物の進化	手稲山口にしかない、 文化 がある。 →大事な文化を継承する
郷土芸能の風雪太鼓は札幌市内外からも演奏依頼がある	
風雪太鼓の練習場所山口クラブの老朽化への対応	
農業振興地域の指定による土地利用の制限	手稲山口にしかない、 恵まれた土壌 がある。 →将来の土地利用を考える
道の駅等の整備の検討	
山口緑地西パークゴルフ場の老朽化	
農家の担い手づくり	産業・文化・土壌を支える 人 がいる。 →地域の担い手を考える
若い人たちに地域づくりについて意見を聞きたい	

■ : 検討課題

4 本日の話し合い

前回までのご意見を参考にして、2つのグループに分かれて意見交換を行います。皆さんのご意見をいろいろ教えてください！

①自己紹介

皆さんのことを教えてください！

②地域づくりの方向性の確認

皆さんで確認してみましょう！

③受入地の活用方法についての意見交換

どんな活用が良いと思うか、皆さんのご意見を教えてください！